

おやま 市議会だより



第311号

●主な内容

令和3年度小山市一般会計歳入歳出決算を認定 令和4年度小山市一般会計補正予算を可決

議案とその内容	②	市政一般質問	⑦～⑫
人事案件	②	議会日誌	⑫
議会改革推進協議会の答申	②	建設水道常任委員会協議会現地調査	⑬
審議結果	③	常任委員会の行政視察	⑬
陳情	④	次回定例会の予定	⑬
委員会報告	④～⑦	議会報告会の開催	⑭

令和5年2月1日号



黑板アート de アオハル (投稿：小山 YEG 黑板アートプロジェクト プロジェクトリーダー藤本 氏)
小山市内の7つの中学校 (乙女中学校、小山第三中学校、小山城南中学校、桑中学校、大谷中学校、小山中学校、絹義務教育学校) の美術部や有志たちが参加して作成しました。

小山市議会

編集 議会広報委員会

令和4年10月31日

臨時会
及び

12月

定例会のあらまし

令和4年11月30日～12月23日

令和4年第4回臨時会は、10月31日に開かれました。臨時会では、令和4年度一般会計補正予算案について審議しました。本議案1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、可決しました。

令和4年第5回(12月)定例会は、11月30日から12月23日まで24日間の会期で開かれました。定例会では、令和4年度一般会計補正予算案、各会計の補正予算案、条例の制定・一部改正案および陳情などについて審議しました。11月30日、9月定例会で継続審査となっていた令和3年度一般会計歳入歳出決算を認定し、市長から市政一般および近況について報

告がありました。続いて議案22件、報告1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、議案2件を可決しました。

12月2日および12月5日から7日は、4会派および11人の議員が市政に対して一般質問を行いました。

7日は、上程議案に対する質疑の後、議案および陳情を各委員会へ付託しました。また、12月9日、12日から15日には各委員会が開かれ、議案および陳情の審査をしました。

12月23日は各委員長報告が行われ、審議の結果、議案20件を可決、陳情2件を不採択、陳情1件を継続審査とし、定例会を閉会しました。

主な議案

臨時会で議決した市長提出議案をお知らせします。

◆令和4年度小山市一般会計補正予算(第3号)―歳入歳出それぞれ14億7615万円の増額補正。電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費、介護サービス事業所等運営支援事業費(光熱費等分)、小

山市水道事業会計補助金、医療機関運営支援事業費(光熱費等分)、インフルエンザ予防接種費など、補正後の予算総額は696億9992万円。

12月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

◆令和4年度小山市一般会計補正予算(第4号)―歳入歳出それぞれ20億6785万8千円の増額補正。小山評定ふるさと応援事業費、認定こども園等施設型給付事業費、障がい児通所支援費、小山市下水道事業会計負担金など、補正後の予算総額は717億6777万8千円。

◆小山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について―施設の設置目的を効果的・効率的に達成できる最適な団体を指定管理者の候補者に選定するため、指定

管理者の候補者に選定するため、指定

人事案件

◆固定資産評価審査委員会委員の選任について

小山市暁2丁目

谷仲 邦夫(新任)

昭和34年8月31日生

議会改革推進協議会(答申)

小山市議会では議会改革を推進するために、令和3年12月23日に議長を除く議員29名を委員とする議会改革推進協議会を設置しました。本協議会では議長からの諮問に応じ、議会運営および議会のICT化について協議を重ねてきました。このたび一般質問時に議場のモニターを活用して資料等を表示できるようにする、災害時などの緊急時にリモート会議ができるように体制を整える等の検討結果がまとまったため、令和4年12月23日に議会改革推進協議会から議長へ答申を行いました。



福田議長(左)へ答申書を手渡す
橋本会長(中央)と荒井副会長(右)

令和4年第4回臨時会（10月31日）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
予 算			
議案第73号	令和4年度小山市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全会一致

令和4年第5回定例会（12月）審議結果

議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
決 算（継続審査に付されていたもの）			
議案第50号	令和3年度小山市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	賛成多数
予 算			
議案第74号	令和4年度小山市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	全会一致
議案第75号	令和4年度小山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	全会一致
議案第76号	令和4年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第77号	令和4年度小山市テクノパーク小山南部造成事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第78号	令和4年度小山市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
議案第79号	令和4年度小山市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	全会一致
条 例			
議案第80号	小山市住宅新築資金等に係る償還金債権の放棄に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第81号	小山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第82号	小山市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第83号	小山市医療費助成に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第84号	小山市立生涯学習センター条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第85号	小山市議会議員及び小山市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
その他の議案			
議案第86号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第87号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第88号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第89号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第90号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第91号	小山広域保健衛生組合規約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第92号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決	全会一致
議案第93号	建設工事請負契約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第94号	財産の取得について	原案可決	全会一致
議案第95号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意	全会一致
陳 情			
陳情第4-2号	民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情	不採択	全会一致
陳情第4-3号	栃木特別支援学校寄宿舎の存続に関する意見書の提出を求める陳情書	継続審査	全会一致
陳情第4-4号	陳情書（子ども達のマスク着用の自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する陳情）	不採択	全会一致

賛否一覧表

議決結果	賛成：反対	片山	細野	大平	平野	渡邊	渡辺	嶋田	高橋	土方	佐藤	岡田	橋本	小林	森田	苅部	植村	大木	福田	荒井	篠崎	福田	荒川	山野	大出	安藤	小川	青木	関	塚原	石島		
		照美	大樹	拓史	正敏	一郎	一男	積男	栄	美代	忠博	裕	守行	英恵	晃吉	勉	一	英憲	幸平	覚	佳之	洋一	美代子	孝	ハマ	良子	亘	美智子	良平	俊夫	政己		
決 算																																	
議案第50号	原案認定	28	1	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 ※ 議長（福田 洋一）は採決に加わりません。

陳情

12月定例会では、新たに受理した陳情3件について審議しました。その結果、2件を不採択、1件を継続審査としました。(審査の経過については「委員会審査から」をご覧ください。)

新たに受理したもの

陳情3件

●民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情

〔提出者〕

宇都宮市石井町

基本的な人権を守る栃木県民の会

代表 増淵 賢一

〔趣旨〕以下の2点を議決することを求めるもの。

①小山市および小山市議会において、特定の宗教学者およびその関連団体(ただし、反社会的団体との法的根拠がある団体は除く)との関係を遮断する内容の宣言・決議をしないこと。

②小山市および小山市議会において、議員を含む公人および私人に対し、特定の宗教に対する

信仰の有無を問うたり、その団体との関係を調査・質問したりしないこと。

▽審議結果 不採択

●栃木特別支援学校寄宿舎の存続に関する意見書の提出を求める陳情書

〔提出者〕

鹿沼市久野

栃木寄宿舎の存続を求め未来につなぐ会

寛 三枝子

〔趣旨〕子どもや保護者からの寄宿舎へのニーズが高まっているにもかかわらず、栃木県教育委員会が、施設の老朽化・通学困難者の減少を理由として栃木特別支援学校の寄宿舎を閉舎すると通達したことを受け、子ども、保護者、教職員の声を丁寧に精査し、栃木県の特別支援教育を後退させないために、栃木県および栃木県教育委員会に対して当該寄宿舎の存続を求める意見書の提出を求めるもの。

▽審議結果 継続審査

●陳情書(子ども達のマスク着用・自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する陳情)

〔提出者〕

栃木市野中町

栃っこ未来育推進会

代表 山井 佑利恵

〔趣旨〕以下の2点を求めるもの。

①子どもたちのマスク着用に関して、本人が息苦しいと感じる際は、自らマスクを外すよう声掛けをするといった内容の通達を、教育委員会・行政関連の発出により現場に周知徹底すること。

②児童・生徒の成長や発達への影響が危惧されたことにより、文部科学省が発出した、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルの改訂が行われた箇所について、各学校・教育委員会で再度、通達の変更の趣旨を周知すること。

▽審議結果 不採択

委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会でも慎重な審査を経ていきます。委員会審査の中から、主な質疑を紹介します。

総務



▼小山市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例の一部改正について

問 指定管理者の指定の取消し等を行うときは、必要に応じて第三者機関から意見等を聴取するとされているが、どのような第三者機関を想定しているのか。

答 第三者機関として、小山市指定管理者管理運営状況評価委員会からの意見聴取を考えています。評価委員会の構成員は、指定管理者選定委員会と同じであり、委員長は宇都宮大学の教授、委員は税理士、白鷗大学の教授および副市長の合せて6名で構成されています。

問 指定管理者選定委員会の委員に、市側から副市長が入っているが、委員選定の考えは。

答 選定委員会は、指定管理者の経営状況等を確認していただくため、税理士や、経営等が専門の大学教授を委員として選定しています。副市長は、業務を依頼する市側の代表として委員となっておりますが、選定委員会

では指定管理者に対する意見だけでなく、市に対する意見もいただき、対応することがあるため、今のところ支障はないと考えています。

▼建設工事請負契約の一部変更について

問 庁舎南側に整備中の、第1駐車場の工期は令和5年3月24日までとなっているが、供用開始はいつになるのか。

答 第1駐車場は一方通行のロータリーにする予定であり、市役所敷地内への車の進入経路が変わることから、市民への周知期間や警備員の教育期間を設けたいと考えていますが、できるだけ早く供用開始できるように努めます。

総務（陳情）

▼民主主義・立憲主義の基盤である思想・良心の自由、請願権等を守る為の陳情

意見 国において被害者救済法が成立し、どの政党も特定の宗教との関係を断つと宣言している中で、本陳情は今の社会情勢と大きく乖離していることから

不採択としたい。

意見 本陳情の要旨で触れられている富山市議会の決議文を読むと、問題は政治家が宗教団体と関わるのではなく、靈感商法などで大きな社会問題となった団体とのつながりを持っている。本陳情は特定の宗教という言葉を用いて一般的な話になっているが、富山市議会では社会問題になっている団体のことについて決議していることから、不採択としたい。

民生



▼令和4年度小山市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

問 現在の国保財政調整基金の残高は。

答 令和3年度末の残高は、16億5606万3545円です。

▼小山市医療費助成に関する条例の一部改正について

問 条例改正後、医療費が償還払いとなる条件は。

答 県外の医療機関を受診した場合は、償還払いとなり、県内の医療機関を受診した場合は、

現物給付となります。

▼指定管理者の指定について（小山市宮小山駅西駐車場等）

問 小山駅西駐車場が再開発により廃止される予定だが、今後の駅前駐車場の方向性は。

答 小山駅西口周辺の1週間の駐車場利用率を調査した結果、小山駅西駐車場は約40%、JR小山駅駐車場は約20%、小山駅西駐車場の西側にある民間の平面駐車場は約80%でした。小山駅西駐車場廃止後は、空いている民間駐車場の利用が図られるものと考えています。廃止が決定した際は市民への周知をできるだけ早期に実施します。



小山市宮小山駅西駐車場

教育経済



▼令和4年度小山市テクノパーク小山市南部造成事業特別会計補正予算（第1号）について

問 今回ICTの技術を活用した工事を導入することだが、工事の詳細は。

答 現在、事業は9割方進んでおり、各区画の整地工事を行っています。その整地工事において、ICTの技術を活用し、ブルドーザー等の操作を自動で行うものです。

▼指定管理者の指定について（絹ふれあいの郷）

問 指定管理者である絹ふれあいの郷交流推進組合の高齢化への対策等は。

答 高齢化の懸念については組合に伝えていきます。具体的な対策等は今後検討しますが、組合員を増やすため、絹地区外の住人も組合員として認めるように組合に指導することを考えています。

▼指定管理者の指定について（小山市中央市民会館）

問 コロナ禍という厳しい状況

で、小山市中央市民会館の運営状況は。

答 コロナ禍以前は、文化センターと中央公民館を合わせて約23万人の利用者がいましたが、令和2年度が4万6688人、令和3年度が6万5628人でした。令和4年度は11月末現在で7万8923人と回復傾向にあります。コロナ禍以前の水準にはまだ戻っていません。以前利用していた団体に、指定管理者が利用の呼びかけをしており、小山市としても利用していただけるように働きかけ等を行っています。

教育経済（陳情）

▼栃木特別支援学校寄宿舎の存続に関する意見書の提出を求める陳情書

意見 新聞報道によると、栃木県は、令和5年3月の閉舎を延期すると表明している。寄宿舎の存続については、まだ結論が出ていないと思われ、保護者の方々と栃木県教育委員会の話し合いの経過を見ていく必要があることから、継続審査としたい。

▼陳情書（子ども達のマスク着用、自由化と学校給食時の黙食緩和の啓発に関する陳情）

意見 市教育委員会が、陳情の趣旨について学校に周知徹底しており、子ども達も自主的にマスクを着けたり外したりしていることもうかがえるので、不採択としたい。

意見 現在も感染者が増加している状況であり、マスク着用の自由化は厳しいと考えることから、不採択としたい。

建設水道



▼令和4年度小山市水道事業会計補正予算（第1号）について
問 羽川西浄水場の電気設備機能増設工事の詳細は。

答 羽川西浄水場の電気設備機能増設工事は、若木浄水場等の更新をする際に、2系統の内の1系統を止める必要があるため、先に羽川西浄水場の増設工事を行うものです。その後、若木浄水場等の更新を考えていますが、若木浄水場の1系統停止により減少する取水量を、羽川西浄水場で増量して賄います。

▼令和4年度小山市下水道事業会計補正予算（第1号）について

問 水処理センター汚泥処理・有効利用施設整備に係るPFI事業について、予定額の補正内容は。

答 PFI事業は令和5年までの事業で、国の総合経済対策により、前倒して予定額の増額補正をしました。

▼財産の取得について（コミュニケーションバス車両）

問 購入するバスの詳細は。

答 乗降が楽な低床式で、車内に車いす用のスペースを確保したバリアフリーに適した車両です。また、狭い道路での通行が



導入予定のバス（同型車）

可能な小型バスの規格で、中型バス程度の乗車定員を確保できます。

予算審査



▼令和4年度小山市一般会計補正予算（第4号）

問 令和5年10月1日にリニューアル予定の市公式ホームページの変更点は。

答 現在の市公式ホームページは縦スクロールが多く、見づらく、分かりづらい、といったご意見を市民からいただいているため、根本的なつくりを変え、見やすく、わかりやすく、読みやすいものにするともに、スマートフォンからの閲覧にも最適化されたものにしていきます。

問 マイナンバーカードを申請した方に最大2万円分のマイナポイントがつくことから、窓口の混雑が予想されるが、その対策は。

答 窓口や職員数に限りがある中で、申請と交付を分けることで、混雑が若干緩和されました。また、令和5年1月からは端末機の増設および他部署からの応

援による職員の増員により対応していきます。

問 水田麦・大豆産地生産性向上事業の内容は。

答 国際的に穀物の供給懸念が生じ、価格が高騰している中で、小麦の国内安定供給のために行う事業です。現在、小山市では麺類に適した品種の生産が多いため、パンに適した「ゆめかおり」という品種の生産を作付面積4ヘクタールで取り組み、トラクターやコンバイン等の購入や土づくりを行うものです。

問 学校でのAED設置場所は職員室が多いが、AEDは運動の際に使用することも想定されるため、体育館に増設する計画はあるのか。

答 現在は職員室や体育館等にAEDの設置場所を表示することで、体育館において、もしものことがあった場合に対応できるようにしています。今のところ学校でのAED使用事例はありませんが、AED増設の必要性については今後検討してまいります。

市政を問う

12月定例会 市政一般質問

※発言順に掲載 ○は会派代表質問を行った議員



市政一般質問の動画をご覧になれます。

各議員の顔写真の下の2次元コードをスマートフォン等で読み取ると、質問の動画をご覧いただけます。

※視聴の際のデータ通信料はご自身の負担となります。

会派代表質問

自民未来塾

○荒井 覚 関 良平
小川 亘 福田 洋一
篠崎 佳之 福田 幸平
岡田 裕 高橋 栄
渡邊 一郎



荒井 覚
議員



動画は
こちら

質問事項 ①令和5年度予算編

成方針②人口減少社会③教育行

政④保健福祉行政⑤産業観光行

政

問 市内の工業団地造成に関して、現在の状況と今後の取り組みについて伺う。

産業観光部長 現在、市内11カ

所の工業団地には、157社の事業者が立地し、操業しています。12カ所目のテクノパーク小山南部は、令和4年7月に全区画への誘致企業が内定し、令和5年3月に完成予定です。13カ所目となる小山第四工業団地第二工区は、令和8年度の完成

を目指し、現在事業を進めています。令和4年度は、用地買収を進めるとともに自然環境調査や埋蔵文化財発掘調査を実施しています。今後の工業団地開発は、新4号国道沿線で、大谷東部地区を近隣地区の排水対策も併せて検討していますが、国内の経済情勢に影響を受ける企業の設備投資意欲を見極めつつ、他市町の動向にも注視しながら計画を進めます。

問 コロナ禍における学校と保護者間の連絡手段のデジタル化として、保護者連絡システムを導入しては。

教育長 小山市では、保護者連

絡システムの実証事業を令和4年10月から市内小中学校4校で行っています。実証事業校では、システムを導入することでスマートフォン等を活用した連絡が可能となり、必要以上に人が接触する機会を削減できています。また、朝の欠席連絡等の電話件数が、実証事業開始前の10分の1以下に減少し、保護者および教職員の負担軽減の一助となっております。

市政会

小林 英恵
大出 ハマ
橋本 守行
○渡辺 一男

安藤 良子
植村 一
嶋田 積男
細野 大樹



渡辺 一男 議員



動画はこちら

りを考えること③公共施設等の整備および維持修繕は、計画的に実施することなどの重点項目をあげ、これらを踏まえた施策事業の実現に取り組めるように予算編成します。

問 令和5年7月に改選が予定されている農業委員会等の任命および委嘱の方針について。

質問事項 ①総合政策行政②市民生活行政③保健福祉行政④農業委員会⑤産業観光行政⑥教育行政⑦消防行政

問 令和5年度予算編成の基本方針について伺う。

市長 令和5年度の予算編成の基本方針として、市民の安全安心な暮らしを基本とし、経済活動の好循環を加速、拡大させる取り組みや将来を見据えた小山市の持続的な成長につながる施策について、①市民が主人公の市政運営を推進するため、事業実施にあたっては市民の意見を十分聴取すること②田園環境都市小山の構築に向け、市域全体で総合的に持続可能なまちづく

産業観光部長 農業委員会等に関する法律では、委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければなりませんと規定されています。また、第5期小山市農業・農村男女共同参画推進ビジョンでは、令和8年度の農業委員に占める女性の割合を30%以上としています。

さらに、農地利用最適化推進委員については、男女共同参画推進の観点から女性の積極的な登用が重要と考えています。令和5年7月に行われる農業委員等の改選について、広報おやまや、農業委員会だより等で広く周知を図るほか、農業団体等に対し、できるだけ女性が推薦を受け、または募集に応募するように働きかけを行い、女性農業委員等の登用に努めていきます。

市民派21

山野井 孝 ○石島 政己
塚原 俊夫 青木美智子



石島 政己 議員



動画はこちら

め、音達エリア調査の結果をもとに、令和5年度中に耐災害性や地域特性を考慮して、一斉伝達手段の選定と設置計画を作成した後、浸水想定区域を優先して市全域への整備を進めます。

問 太陽光発電、電気自動車、V2Hの導入によるエネルギーの自給自足を進めるための助成制度ができないか問う。

質問事項 ①2023年度予算編成方針②災害対策③環境政策④教育行政⑤空き家対策

問 全国の8割以上の自治体で防災行政無線が設置済み。コミュニケーションツールの基本は音声であり、小山市の設置方針を問う。

危機管理監 防災行政無線については、すでに設置してある南西部を除いた市全域で音達エリア調査を行っています。また、昨今の情報通信技術の進展に伴い、現在小山市で導入している60メガヘルツ帯の無線だけでなく、携帯電話などのIP回線、ケーブルテレビ網を活用した一斉伝達手段、屋外の拡声子局に設置する高性能スピーカーも普及してきています。このた

市民生活部長 各家庭が太陽光などの再生可能エネルギー設備を導入して、エネルギーを自給自足することは、脱炭素の達成に近づくものであると考えます。一般住宅において、電気自動車のバッテリーを活用して車から家に給電するV2Hは、移動時に排ガスを出さず、電気代の節約や非常災害時の停電対策などにもなるため、積極的に普及促進を図りたいと考えています。

この助成制度については、現在策定中の第4次小山市環境基本計画のなかで、二酸化炭素削減につながる具体的な施策の一つにV2H普及促進を位置づけたうえで、社会情勢や市民のニーズを踏まえ、さまざまな支援策の一つとして検討していきます。

おやま創生会

荻部 勉 ○森田 晃吉
土方 美代



森田 晃吉 議員



動画はこちら

質問事項 ①不登校生徒児童

②ネーミングライツ③豊田南小跡地活用④コミュニティセンター

問 メタバース授業について、市で取り入れる考えは。

教育長

※メタバースを活用した授業・支援は新しい分野であり、機器や通信環境の整備、予算や人材の確保等、解決すべき点が多くあります。先進事例等を参考に、メタバース活用のメリット・デメリット等の情報収集に努め、学校教育に適しているかなど、その意義や可能性について研究していきます。なお、

小山市では、オンラインで会議等ができるソフトや、オンラインドリル教材等の活用が可能です。これまで同様、一人ひとりの児童生徒に応じた対応を行う

よう、指示していきます。

問 美田地区コミュニティセンターについて、今後のスケジュールと防災拠点としての機能は。

市民生活部長

市民交流センターは、小山市コミュニティ基本計画において、地域の状況や財政状況等を勘案し、その地域の基幹施設、活動拠点施設として整備充実を図ることとしています。現在、大谷地域の施設整備に着手しており、今後は美田地域（豊田・中・穂積地区）の整備を検討しますが、災害対策、特に水害対策は大変重要な課題の一つです。そのため、施設整備事業のさまざまな課題について庁内関係課と協議・検討しています。今後、事業に着手する際には、地元住民等の代表者で構成を検討している懇話会等からの意見も踏まえて、美田地域の施設整備における災害対策についても検討していきたいと考えています。

※メタバース

コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービスのこと。

個人質問

(発言順に掲載)



安藤 良子 議員



動画はこちら

質問事項

①COP14②総務行政③文化行政④福祉行政⑤市民生活行政

問 小山市の文化財を保存しつつ、まちづくりや観光振興に役

立てる「文化財保存活用地域計画」策定の取り組みについて伺う。

教育部長

令和2年度から、文化庁の地域文化財総合活用推進事業の補助を受けて計画策定を進めてきました。策定にあたっては、学識経験者、文化財の所有者、市民の代表者等からなる協議会と、庁内検討部会において協議・検討するとともに、市民ワークショップや文化庁と協議しました。今後は、令和5年

1月から2月にかけて市民を対象としたパブリックコメントを行った後、文化庁に提出し、7月に認定申請を行う予定です。



荒川美代子 議員



動画はこちら

質問事項

①都市整備行政②保健福祉行政③市役所1階多目的スペース

問 高齢者が転倒し、骨折をきっかけに寝たきりになるケースがある。長寿命社会の中骨粗しょう症予防対策が必要と思う

が。

保健福祉部長

骨粗しょう症が骨折の主要な原因であることから、生活習慣の改善を図り、骨粗しょう症を早期に予防することを目的に、40歳から70歳までの5歳ごとの年齢を迎えた女性を対象とし、骨粗しょう症検診を実施しています。7000円が自己負担となりますが、70歳は無料です。骨粗しょう症の早期発見、早期治療につなげるとともに、骨折による介護状態等の予防には、検診が有効であることから、集団検診の案内に併せた周知に加え、検診の重要性を啓発し、受診率向上に努めます。



佐藤 忠博
議員



動画は
こちら

質問事項 ①保健福祉行政②建設水道行政

問 高齢化で带状疱疹になる方が増加傾向にある。带状疱疹ワクチン接種費用は高額であるため、費用の助成をすべきでは。

保健福祉部長 带状疱疹ワクチンは、現在、厚生労働省の厚生

科学審議会予防接種・ワクチン分科会で、予防接種法に基づく定期予防接種に追加するかを検討しており、ワクチンにより期待される効果や導入年齢に関して検討を要するとされています。費用助成については、引き続き

国や他市町の動向等を注視しつつ、市民からの要望があること、高齢化の進行に伴い带状疱疹の発症者が増加傾向にあること、発症した際には、日常生活に支障を来す疾病であることなどを踏まえ、小山地区医師会等の意見をいただきながら、前向きに調査研究を進めます。



福田 幸平
議員



動画は
こちら

質問事項 ①総合政策行政②教育行政③建設水道行政

問 小山市の「武道」の競技人口は多く、成績も優秀なことから、今後市として総合武道館設置についてどう考えるか。

教育部長 小山市の武道競技人口は462名で、市立武道館のほか、各道場で鍛錬を重ね全国

で活躍する選手もおり、武道を志す人口が多いと言えます。現在、小山市に総合武道館の整備計画はありませんが、県南体育館や市立体育館の稼働状況を踏まえ、たうえで、武道人口、市民ニーズおよび近隣市町の状況を

見極め、情勢の変化等に合わせ、検討を行う必要があると考えています。検討に際しては、交通事情や駐車場の整備も含め、効果的かつ効果的な視点をもって調整を図るなど、幅広い点に留意してまいります。



土方 美代
議員



動画は
こちら

質問事項 ①農業政策②おーバス③各種ボランティア活動

問 スクールゾーンの通行禁止時間帯の公共交通のあり方について、おーバスのみ適用除外にできないか。

都市整備部長 スクールゾーン

等における交通規制は、通学路を登校する児童の安全確保のため、公安委員会により規制がかけられています。通行禁止時間帯にバスを通行させるには、警察署へ通行許可を申請し、通行理由の疎明資料等による審査を経て、警察署長の許可を得ることが必要です。申請にあたって

は、通行禁止時間帯における当該ルートのバスの通行、もしくは近接箇所への代替ルートの検討等について、地域の皆さま、小学校、PTA、バス事業者等の関係者間での合意形成を図りながら、慎重に検討を進める必要があると考えています。



高橋 栄
議員



動画は
こちら

質問事項 ①公共交通サービス②物価・エネルギー価格高騰支援策③建設水道行政

問 市道4231号線（千駄塚古墳前を通り、間々田小・中学校へ向かう通学道路）の拡幅整備について伺う。

建設水道部長 千駄塚古墳周辺

は、強雨の際に道路が冠水し、通学や車両の通行に支障が生じています。平成29年度に自治会などから整備の相談を受け、栃木県と協議し、道路拡幅部の掘削を行わないことを条件に整備が了承されました。平成30年度に事業着手し、境界確認や道路設計等を、令和4年度は不動産鑑定評価等を実施しました。今後は千駄塚古墳から北側の約210メートルを第1期、南側の約220メートルを第2期工

事として整備し、令和5年度は、千駄塚古墳駐車場の発掘調査を実施します。



嶋田 積男
議員



動画は
こちら

質問事項 ①自治体DX推進②
経済対策③教育行政④消防行政

問 神鳥谷遺跡の一部を構成する神鳥谷曲輪跡の今後の整備について伺う。

教育部長 神鳥谷曲輪跡は、平成18年度の小山市の発掘調査で、鎌倉時代後期から室町時代前期にかけての道路状遺構や建物跡などの遺構、陶磁器、漆塗りの椀などの遺物が出土しており、中世小山氏の歴史、さらには小山市の中世の景観や生活を知ろうと貴重な財産です。今後の整備については、平成23年度に整備基本計画を策定していますが、具体的な着手時期は、着手済みの国史跡琵琶塚古墳の整備後と考えています。当面は除草作業などを適宜実施し、将来的には市民が小山市の歴史に触れられる憩いの場、学習の場として提供できるように整備をしていきます。



渡邊 一郎
議員



動画は
こちら

質問事項 ①保健福祉行政②教育行政③土木行政

問 市道30号線東野田地区の改良工事について伺う。

建設水道部長 市道30号線東野田地区の主要地方道明野・間々田線の交差点から北の約180メートルの区間は、特に幅員が狭く、大型車の通行も多いことから、歩行者・自転車にとって危険な状態です。令和3年8月に地元自治会関係者や沿線権利者と現地確認を行い、安全対策が必要な区間として拡幅整備を決定しました。整備概要は、現道の西側に歩道を設置する拡幅整備を計画し、令和4年度に現地測量および路線測量を行うとともに、法線の説明会を予定しています。令和5年度には詳細設計を実施することで確実な事業進捗を図り、早期の完成を目指します。



平野 正敏
議員



動画は
こちら

質問事項 ①消費税のインボイス制度②介護保険事業③国民健康保険事業

問 インボイス制度導入については、反対を表明する市町村も多い。小山市も国に対して制度の廃止または延期を求めるのか。

総合政策部長 インボイス制度の導入にあたっては、さまざまなかで事業者への影響が生じるものと認識していますが、免税事業者等には段階的に6年間の経過措置が適用されるなど、一定の準備期間も設けられています。国、県からは、関係機関と連携し、制度の広報・周知等の協力を求められています。小山市としても、国の動向を注視しながら、近隣市町と足並みを揃え、本制度が円滑に実施されるよう周知等に協力していきたいと考えています。



大平 拓史
議員



動画は
こちら

質問事項 ①図書館行政②防災・減災③商業観光行政

問 市内経済や地域コミュニティの活性化を目的として、電子地域通貨を導入してはどうか。

産業観光部長 市内商工団体を主体とする実行委員会を取り組んできた小山市共通商品券が地域通貨に該当するため、まずは当該商品券の電子化を進めたいと考えています。小規模店舗にとって商品券の加盟店になることは、換金に期間を要した場合、一時的な運転資金の欠乏を招く恐れや、電子化による機器導入等の新たなコスト負担などの懸念がありますが、電子化を進めることで商品券の処理が簡素化され、振り込み手続き等の効率化が期待されます。課題はありますが、利用者と加盟店双方に効果のある取り組みとなるため、商工団体と連携し、検討を進めていきます。



片山 照美 議員



動画はこちら

質問事項 ①障がい児・者の相談支援体制②重度心身障がいの医療費

問 心身に障がいをお持ちの方が、医療機関を受診した際に支払う自己負担分を、支払わなくてもいい現物給付の導入は。

保健福祉部長 現物給付の導入に向けた取り組みとして、小山市では、以前から栃木県に対して、現物給付を導入しても補助金を減額しないように継続して要望を行ってきました。令和4年度から精神障害者手帳1級をお持ちの方も、医療費助成の対象になったことから、近隣他市からも同様の要望が栃木県へ多く寄せられていると聞いています。小山市としても、引き続き要望を行っていくとともに、栃木県の動向を注視していきます。



議会日誌

- 10月 17日 議会広報委員会/決算審査特別委員会
18日 決算審査特別委員会
24日 関東市議会議長会第1回理事會
26日 議会運営委員会/小山市中央市民会館整備に関する小委員会
28日 第310回栃木県市議会議長会議/栃木県市議会議長会議員研修會
11月 2日 市執行部との定例懇談會
8日 議会広報委員会/議員説明會
9日 建設水道常任委員会協議会現地調査/全国市議会議長会第229回理事會・第113回評議員會合同會議
10日 議会運営委員会/會派代表者會議
25日 議会運営委員会/會派代表者會議
30日 議会広報委員会/公共施設等整備調査特別委

- 12月 2日 議会運営委員会
7日 議会改革推進協議會/會派代表者會議
9日 民生常任委員会
12日 教育經濟常任委員会
13日 建設水道常任委員会
14日 総務常任委員会
15日 予算審査常任委員会
23日 議会運営委員会

視察来訪

- 10月 12日 石巻市(宮城県) 9名
|| 議会タブレットの活用、議会改革の取り組み
加茂市(新潟県) 6名
|| ごみ袋等をはじめ、ごみ分別・処理方法
出雲市(島根県) 7名
|| 絹義務教育学校
11月 1日 北秋田市(秋田県) 6

議会見学

- 10月 24日 小山城東小133名
11月 28日 小山城北小52名



議場見学の様子 (小山城北小学校)



- 15日 名|| 防災対策
遊佐町(山形県) 6名
|| 寺野東遺跡の保存活用
17日 九十九里町(千葉県)
11名|| タブレット端末の導入



導水施設工事現場



南摩ダム建設工事現場

建設水道常任委員会
協議会現地調査

令和4年11月9日に建設水道常任委員会協議会において、南摩ダム建設工事現場および導水施設工事現場（鹿沼市）の現地調査を行いました。

常任委員会の行政視察

視察報告書は
こちら



教育経済

10月3日(月)
~5日(水)



愛知県新城市で【農業の担い手の確保】、岐阜県岐阜市で【ICT・情報教育】、愛知県刈谷市で【刈谷市総合文化センター】について行政視察を行いました。

民生

10月5日(水)
~7日(金)



大阪府摂津市で【摂津市地球温暖化対策地域計画】、大阪府堺市で【ひきこもり相談と支援(40歳以上)に係る取り組み】、愛知県大府市で【介護予防及び認知症総合支援事業】について行政視察を行いました。

総務

11月14日(月)
~16日(水)



愛知県豊田市で【DX推進】、愛知県一宮市で【催告業務の民間委託】、愛知県岡崎市で【消防本部の整備・車両(レッドサラマンダー)等】について行政視察を行いました。

建設水道

11月14日(月)
~16日(水)



大阪府箕面市で【箕面船場阪大前駅前地区まちづくり拠点施設整備運営事業】、奈良県生駒市で【道路補修通報アプリ】、静岡県静岡市で【静岡型MaaS】について行政視察を行いました。

次回定例会の予定

※正式な日程および傍聴は、後日開催する議会運営委員会にて決定後、小山市議会ホームページでお知らせします。



2月16日(木)	本会議 (開会・議案上程)
2月20日(月)	本会議 (一般質問)
2月21日(火)	本会議 (一般質問)
2月22日(水)	本会議 (一般質問)
2月24日(金)	本会議 (一般質問・付託)
2月28日(火)	委員会

3月1日(水)	委員会
3月2日(木)	委員会
3月3日(金)	委員会
3月6日(月)	委員会
3月7日(火)	委員会
3月16日(木)	本会議 (採決・閉会)

令和4年第5回定例会の傍聴者数
12月定例会の傍聴者数は、61人でした。

(11月30日=0人・12月2日=26人
5日=3人・6日=19人
7日=12人・23日=1人)

